

ななおれこりめ

～七折小梅とプロの農家のカッコよさに魅せられて！～ 大内 祐衣さん（砥部町）

農事組合法人ななおれ梅組合員 1989年生まれ



☆経営概況☆

2年の研修を終え、平成27年度から新規就農し、今治市から砥部町へ移り住み七折小梅の生産に取り組んでいます。（梅50a シキミ10a）

☆ここがポイント☆

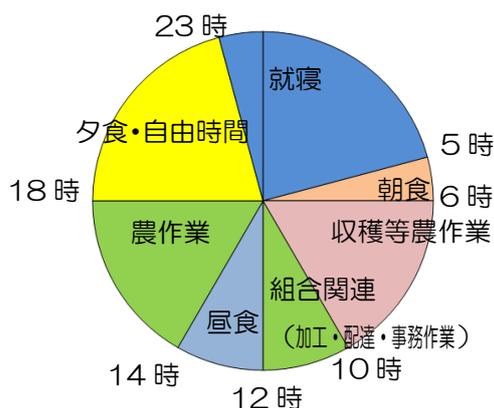
■はじめは梅の加工業者にでもと思っていました

私は小さいころから梅が大好きで、梅の加工業者に就職したいと考えていましたが、大学のゼミの先生の紹介で「ななおれ梅組合」に出入りさせてもらって、地元の農家さんと一緒にいる時間が長くなるにつれ、「プロの梅農家のカッコよさ」に憧れを抱くようになりました。

■どうせ頑張るのなら、大好きな梅に関わりたい！

昔からそうなのかもしれませんが、就職してから頑張らないといけないのはどこも同じだと思います。それなら、好きな梅に関われるような仕事がいいかなと思ったのと、最初は農大での研修も考えましたが、どうせなら一刻も早く就農したかったので、大学卒業後、すぐに「ななおれ梅組合」で研修を受けてそのまま就農しました。梅干しだけではなく、シロップやゼリーなどの加工品も作っていて、七折小梅や七折地区の良さを知っていただきたいと思っています。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

消費者の方や他の作物を生産する方、青果物販売の方々等、色々な分野の方から日々勉強させていただいています。一番嬉しい時は、七折小梅を喜んでいただいた時です。農作業をしている所では、天候で困ることも多いですが、長い時間をかけて成長していく作物を見ると何とも言えない気持ちになります。すぐに結果は出ないことも多いですが、先輩や仲間にも助けてもらいながら一歩一歩進んでいることを実感できる毎日です。

【年間のライフスタイル（一例）】

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
梅剪定作業	梅まつり			収穫	梅の土用干し作業					剪定作業・防除作業	
梅組合の仕事				梅漬け込み作業	赤シソ刈り・漬け込み作業						

☆これからの夢や目指すもの☆

■地域にとって大切なものを残したい！

七折小梅は、地域にとっての宝だと思っています。なので、100年続いた七折小梅の歴史と産地をこれからも維持していきたいです。そして、もっと加工の方法を勉強して、新しい商品を開発しながら、産地の売り込みもしていきたいなど・・・そして、組合員みんなの所得の向上につながるようにしていければいいなと思っています。

☆メッセージ☆

■頑張っている女性の農業者で繋がっていきましょう！

一般的には、男性の1.2倍の作業時間がかかると言われていますが、梅は、比較的手間がかからないので、女性でも十分やっていけると思っています。自分がモデルケースとなって、もっと若い方が後に続いて欲しいなと思っています。また、若い女性農業者の方々とお会いして、お互いに頑張っている姿を見て励みにしたいと思っていますので、繋がっていきましょう！